

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

とやまふれあい共生フォーラムで 手話を体験してもらいました



2月7日（土）午後、富山国際会議場で「障害のある人もない人も共に生きる笑顔のまち」をテーマにとやまふれあい共生フォーラムが開催されました。富山県聴覚障害者協会からは石倉理事長の他、柴田、大楠の役員3名が担当して協会紹介の展示や手話体験を行いました。

フォーラムには多くの方が来場されました。手話体験コーナーでは10人くらいの方に、「おはようございます」

「こんにちは」など、日常でよく使う手話を教えました。一つ一つ手話の説明もていねいにしてもらって納得して覚えてくれました。石井富山県知事も活動紹介コーナーの視察に来られたので、協会紹介や手話についてのアピールもできたかなと思います。

講演やシンポジウムでは、聴覚障害者のために手話通訳、パソコン要約筆記、特別席も用意してあり、参加された方にとってもどんなお話しされたか理解することができたと思います。

どんな障害があり、どう接していくか、点字を学ぶなど他の障害者団体の活動の様子も分かり、聴覚障害者としても県の手話言語条例の取り組みなど、もっと運動を高めていかななくてはと思いました。



2月4日、富山駅総合案内業務を担当する（株）プラチナコンシェルジュの職員さん11名がセンターに来所。聴覚障害者の対応の心構え、簡単な手話を学んでもらいました。模擬実習も少しできました。筆談で対応、手話で対応など聴覚障害者に合わせて対応することを理解してもらえたかなと思います。何かあったら総合案内に行ってみましょう。経験を重ねて欲しいですね。

八尾高校の生徒達21人が2月20日にセンター見学に来ました。手話通訳とパソコン要約筆記付きの県ろうあ者大会の編集映像、文章を電光文字表示器に流す作業などを体験してもらいました。聴覚障害のための合理的配慮がどんなものか、分かってもらえたかな？

センター利用の実績 1月21日～2月20日

- 来所者 合計約456名
聴障者約202名、健聴者約254名
- 意思疎通支援コーディネート64件
- ライブラリー貸出 1件1本
- 相談対応12件 ●部屋貸出45件

★センター運営募金を
お寄せ下さい★
郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会